太秦庁舎電力供給　仕様書

１　概要

⑴　対象建物

上下水道局　太秦庁舎

⑵　需要場所

京都市右京区太秦安井一町田町１４番地

⑶　業種及び用途

官公署（事務所）（ＡＳ）

※　太秦庁舎には店舗スペースがあり、飲食店等が入居している。

２　仕様

⑴　供給電気方式、供給電圧（標準電圧）、計量電圧（標準電圧）、標準周波数受電方式、設備容量、発電設備、系統連系

ア　供給電気方式	交流３相３線式
イ　供給電圧（標準電圧）	６kV
ウ　計量電圧（標準電圧）	６kV
エ　標準周波数	60Hz
オ　受電方式	１回線受電
カ　設備容量	1,150kVA
キ　発電設備	非常用発電機　定格 150kVA 220V １台 電力貯蔵設備　最大 10kVA 202V １台 太陽光発電設備　ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ 20kW
ク　系統連系	有（電力貯蔵設備(電気自動車用急速充電器)及び太陽光発電設備、売電は無し）

⑵　契約電力、予定使用電力

ア　契約電力

契約電力とは、契約上使用できる電気の最大電力をいい、計量器により計測し、算定される値が原則としてこれを超えないものとする。

ただし、各月の契約電力は、その１月の最大需要電力と前１１月の最大需要電力のうち、いずれか大きい値とする。

イ　予定使用電力量

月別の予定使用電力量は、４⑵のとおり

⑶　契約期間

令和９年４月１日０時００分から令和１０年３月３１日２４時００分まで

⑷　電力量等の検針

ア　自動検針装置	有
イ　電力会社の検針方法	計量器との通信による把握
ウ　計量器	電力供給用複合計器（通信機能有り）
エ　需給地点及び財産分界点	構内第１柱上の開閉器の電源側接続点

３　その他

⑴　力率は、契約期間中１００パーセントを保持する予定。

⑵　力率の変動、その他の要因による電気料金の調整及び仕様書に定めのないその他の供給条件については、当該地域を管轄する一般送配電事業者の電気供給条件（特別高圧・高圧）による。

⑶　電気料金に関する事項は契約書の定めるところによる。

⑷　燃料費調整単価及び市場価格調整単価について、令和８年１２月時点の電気供給条件に準ずる約款で、契約期間は適用すること。

４　契約電力、年間使用電力量実績及び予定電力量

⑴　契約電力（令和８年８月使用実績）：２６３kW

⑵　年間使用電力量実績及び予定電力量（kWh）

	購入電力量		令和９年度 購入予定電力量
４月	令和８年度	48,023	49,000
５月		50,664	51,000
６月		56,917	57,000
７月		82,543	83,000
８月	令和７年度	86,461	87,000
９月		74,890	75,000
１０月		56,851	57,000
１１月		53,417	54,000
１２月		68,764	69,000
１月		76,443	77,000
２月		66,822	67,000
３月		64,492	65,000
合計		786,287	791,000